

No. 1583

# 日中新時代へ

——竹下首相訪中——

竹下首相は8月25日から30日まで首相に就任して初めて中国を公式訪問しました。

日中平和友好条約が締結されて10年目を迎え、新たな日中関係を築こうという目的です。

北京の人民大会堂前の広場での歓迎式典で閱兵。

つづいて李鵬中国首相との首脳会談で総額8,100億円にのぼる円借款の供与を表明。李首相は来春の訪日を約束。

また今年84才になる中国の最高実力者劉小平氏と会談し日本の技術等を含む経済協力と共に相互信頼が大前提であることを確認。人民大会堂で中国企業と同じ「内国民待遇」を認める「日中投資保護協定」が調印されました。

政治日程の終わった竹下首相は外国の首脳としては初めて敦煌を訪れました。早速ラクダの背にまたがり古代シルクロードの旅に思いを馳せました。

首相が「砂漠のギャラリー」と表現した莫高窟では涅槃像や高さ26メートルもある大仏を見て回り「人類の遺産」に魅入られた様子。

西安でも兵馬俑博物館や華清池を訪れ、古代中国文化の遺跡保存へ強い関心をもったようです。

最後に竹下首相は西安で記念講演を行ない「両国間の政治・経済関係が着実に前進していることを踏まえ、文化面の交流も充実させ幅広い発展を可能にしたい」とのべ、日中新時代への意欲を示しました。